

科目	単位	時間	履修学年	講師名
精神看護援助論Ⅲ	1	30	2	中山 文聡
ねらい	精神疾患患者の事例展開とロールプレイを行い、精神看護の対象理解を学ぶ プロセスレコードの演習を通じて、自己のコミュニケーションの傾向を理解する			
回数	授業内容			授業方法
1 回目	精神看護領域の看護過程 患者-看護者関係の構築とは 対象理解のためのコミュニケーション技術と情報収集			講義
2 回目	自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード ロールプレイから、プロセスレコードの作成・評価・提出			講義・演習
3 回目	事例展開のための理論活用			講義
4 回目	事例を用いた看護過程の展開 フェイスシート フローシート 関連図			講義・演習
5 回目	事例を用いた看護過程の展開 関連図			講義・演習
6 回目	事例を用いた看護過程の展開 データベース			講義・演習
7 回目	事例を用いた看護過程の展開 データベース			講義・演習
8 回目	事例を用いた看護過程の展開 本診断、診断リスト			講義・演習
9 回目	事例を用いた看護過程の展開 看護計画			講義・演習
10 回目	事例を用いた看護過程の展開 看護計画 行動計画			講義・演習
11 回目	事例を用いた看護過程の展開 計画実施、看護展開記録作成			講義・演習
12 回目	事例を用いた看護過程の展開 計画実施、看護展開記録作成、プロセスレコードの作成・評価・提出			講義・演習
13 回目	事例を用いた看護過程の展開 計画実施、看護展開記録作成			講義・演習
14 回目	事例を用いた看護過程の展開 計画実施、看護展開記録作成			講義・演習
15 回目	事例を用いた看護過程の展開 看護サマリー作成 レポート作成			授業内で 提出
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学①② 精神看護の基礎, 医学書院			
評価方法	事例を用いた看護過程の展開・実施・評価・修正 (40 点)、プロセスレコード (5 点× 2 回=10 点)、記録 (40 点)、出席 (10 点: 2 欠課×2 点の減点) の合計で 100 点			
備考	主観的データで対象理解が必要であり、症状の捉え方や表出内容を症状名へ変換して記 述するなど、他領域との違いを理解して質問など主体的に思考過程を学ぶ			